

2013 年 2 月 10 日

## プロジェクト報告書

団体名 : 特定非営利活動法人シニアメイトサービス

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. プロジェクト名

市民後見人養成講座テキスト作成事業

### 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

日本の高齢化は進み、独居や高齢者のみの世帯も多いのが現状です。判断能力が低下し、成年後見制度を利用する方も増えています。

現在でも親族後見人を期待できず、専門職後見人も不足しています。安心して暮らし続けられるよう、地域の方を地域で支えるためにも市民後見人の養成は必要と考えます。

### 3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

テキスト作成委員会を設置し、項目・内容を協議しました。今まで行った市民後見人養成講座のカリキュラムを基本にし、厚生労働省が提示している、カリキュラム内容に沿った内容にしました。

内容: 市民後見概論・民法の基礎・成年後見制度の理解・高齢者の理解・知的障害者の理解  
精神障害者の理解・介護保険制度の理解・生活保護制度の理解・健康保険制度の理解・  
年金制度の理解・高齢者虐待防止法・障害者虐待防止法・障害者自立支援法・日常生活自立支援法・消費者被害の対応・福祉サービスと社会資源・関係機関との連携

### 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

専門職向けの後見人養成テキストは専門用語が多く、市民にとっては難しい内容になっています。市民後見人向けに解りやすい語句や図、イラストを用いたテキストが完成しました。また、普段学ぶ機会が少ない知的障害者や精神障害者の理解については、ページ数にこだわらずきめ細かに執筆していただきました。

### 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

発行するのは東京ですが、全国の方に活用して頂けるように、家庭裁判所書類には気をつけました。

養成講座開催のつど、講師からレジメを送っていただき、コピーしていましたが、一冊にまとまっていますので、振り返りが出来、いつでも確認できるようなテキストになったと思います。

### 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし